

米工通信 第116号 令和4年4月26日 鳥取県立米子工業高等学校

文部科学省の調査によると、長期の休みが明けるタイミングで自死の件数が増加しています。学校ではこの時期、生徒の様子に変化がないかを特に注視しています。

高校生の自死 意外な原因!

高校生の自死は増加傾向にあります。また、小学生から高校生まで共通して女子の増加率が高くなっています。報道等をみていると「いじめ」が原因での自殺が取り上げられ、自死は「いじめ」が主た

る原因ではないかと思ってしまいます。

ところが、令和3年6月に文部科学省が児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議で発表した厚生労働省の統計に基づく「児童生徒の自殺者数に関する基礎資料集」では、令和2年度の高校生の自死の内訳は右表のとおりでした。この表にはありませんが、高校生の「いじめ」での自死は1件でした。この結果には私も驚きました。マスコミの報道などに偏りのある見方をしてしまうことを感じました。

また、令和元年度から2年度にかけての変化の特

原因・動機	人数(人)
進路に関する悩み(入試以外)	44
学業不振	35
病気の悩み・影響(うつ病)	31
親子関係の不和	25
病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	25
学友との不和(いじめ以外)	19
失恋	16
家族関係の不和(親子関係、夫婦関係を除く)	12
入試に関する悩み	11
家族からのしつけ・叱責	10

徴は、中学生以上で精神疾患による自死が大きく増えていることです。コロナ禍での影響も大きいと考えられ、家族の在宅勤務への配慮やステイホームでゲームに没頭して家族から叱責を受けるなど、家庭が物理的な居場所(House)の状態にあり、居心地の良い場所(Home)になっていない可能性が高いとの分析でした。また、学校行事の削減による達成感の喪失や友人とのコミュニケーションの機会が減ったことによる息抜きの場の消失も影響しているだろうとのことです。

この対策として、自他尊重のコミュニケーション能力、ストレス対処能力の育成など、心の健康教育の必要性が示されています。子どもたちを支援する我々大人は、カウンセリングマインドやネットワークマインド(つながる心と力)を持って接する必要があります。

これからゴールデンウィークに入り、10日間の連続した休みに入ります。保護者の皆様にはお子様の様子を観察していただくとともに、お子様の思いを聞いていただき、まずは気持ちを受け入れていただきますようお願いします。また、コロナ禍での対応にお困りの場合は、地域の福祉課などへ相談され、サポートしていただける支援機関を適切にご活用ください。生徒のみなさんもしんどいときは一人で悩まずに誰かに助けを求めてくださいね。 校長 松川 明義

00000 00000 00000 00000 00000 00000

【行事予定】27日(水):部室移動

29日(金):昭和の日

5月2日(月)・6日(金):体験的学習活動等休業日

5月3日(火):憲法記念日 4日(水):みどりの日 5日(木):こどもの日



米丁 HP



米工通信 第117号 令和4年4月28日 鳥取県立米子工業高等学校 JRC 部顧問 笹川恭子

「人道」って? ~赤十字と人道~

北京オリンピックが終わって間もない2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵攻を始めました。2か月が経っ た今でも戦争は終わらず、テレビや新聞、ネットニュース等でウクライナ情勢が報道されない日はありません。 「戦争」がもたらす悲惨な現実を前に、何か自分にできることはないだろうかと考える人も多いと思います。

また、3月16日には福島県沖で最大震度6強の地震が発生し、多くの方々が被災されました。11年前の東北 大震災から復興しつつある中での被災に心を痛めた人も多かったことでしょう。そこで本校の IRC (青少年赤十字) 部は「募金活動」を行うことにしました。 朝の慌ただしい時間に快く募金に協力してくださった生徒のみなさん や先生方に、この場をお借りして感謝申し上げます。

報告

実施期間:4月13日(水)~22日(金)の8日間 朝8時15分から30分まで

所:生徒昇降口

募金総額:ウクライナ人道危機救援金 4,507円

7,537 |

福島県沖地震災害義援金 3,030 円 日本赤十字社を通じて届けられます

生徒の声:

「少しでも人の役に立てたらいいなと思い募金しました、少額でしたけど。」

「募金箱にお金を入れたら、『いいことしたな』と思った。」「戦争が早く終わればいい。」





さて、ニュースなどでよく使われる「人道」という言葉ですが、みなさんはその言葉の意味を知っていますか? (以下は日本赤十字社の説明からの引用です) 1965 年にオーストリアのウィーンで開催された、第 20 回赤十字国 際会議でいわゆる「赤十字 7 原則」が決議、宣言されました。7 原則とは「人道(Humanity)」「公平(Impartiality)」 「中立(Neutrality)」「独立(Independence)」「奉仕(Voluntary Service)」「単一(Unity)」「世界性(Universality)」を指します が、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は敵味方の別なく救われなければならない」と いう「人道」こそが赤十字の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものです。

日本赤十字社は、1877年(明治10年)の西南戦争の最中に設立された「博愛社」という救護団体がその前進です が、日本政府がジュネーブ条約(赤十字条約)に加盟した翌年の1887年(明治20年)に日本赤十字社に改称しました。 世界で19番目の赤十字社ということです。一方、日本の青少年赤十字は1922年(大正11年)5月に滋賀県で少年 赤十字団という名称で生まれ、今年で100周年を迎えます。

本校では青少年赤十字は部活動として活動していますが、「人間を救うのは人間だ」という日本赤十字社のキャ ッチフレーズを目にしたり耳にしたりしたことのある人もいるでしょう。「気づき、考え、実行する」のが青少年 赤十字の態度目標です。これからも少しずつではありますが、「人道」を尊重して活動していきたいと思います。

【行事予定】5月 2日(月) 体験的学習活動等休業日

6日(金) 体験的学習活動等休業日

11日(水) 1年生:情報モラル教室

週末の大会参加予定 ソフトテニス、陸上

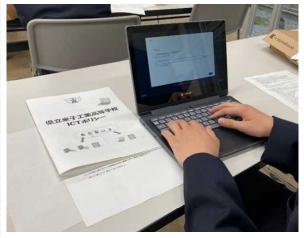




米工通信 第118号 令和4年5月10日 鳥取県立米子工業高等学校

体験的活動休業日はどのように過ごしましたか。1年生は新しい環境に気疲れすることもあったことでしょうが、この連休でリフレッシュできたことでしょう。さあ、本格的に高校での授業が始まります。

Chromebookで学習もICT化



クロームブックの設定作業をする1年生

今年度は県立高校で一斉に新入生がクロームブック(ノートパソコン)を購入して入学しました。高校でもパソコンが 鉛筆や消しゴムと同じように学習の道具として活用されま す。1年生はさっそく設定作業を行いました。

2、3年生は学校で準備している40台のWindowsタブレットや自分自身のスマホを活用してきました。しかし、共有のパソコンでは自宅での使用や自分流に使い込むことができませんし、スマホでは画面が小さく、またキーボードがないために入力に時間がかかるなどの不便さがありました。

1年生は個人持ちのパソコンですから、しっかりと使い込むことができます。あれこれと試してみてください。調子が悪くなればリセットすれば良いのですから、恐れることはありません。プロフェッショナルと呼ばれる人は数多くの挑戦と失敗をしています。気をつけて欲しいのはモラルです。個人情報の漏洩や他人を誹謗中傷するようなことは厳に慎んでください。

以前はパソコンの学習は電子系の学科を中心に行っていました。 私が教員になった頃はポケットコンピュータを生徒が個人持ちで購入していました。そのころは月刊誌も発売され、生徒はゲームプログラムを改造しながらプログラミング能力を高めていました。



ポケットコンピュータ

ダーウィンは進化論の中で「環境に適応できたものだけが生き残ってきた」と説明しています。私たちの周りでも紙の通帳の発行に手数料が必要になったり、店舗を持たずにネットでのみ購入ができるお店が増加しているように、社会生活でも教育でも、パソコンなどのデジタルツールを道具として使えることが、これからの生活を豊かにしていくために必要となってきました。

工業学科で学ぶみなさんも、産業界のICT化を踏まえてデジタルツールを活用したものづくりの技術を学んだり、デジタルツールをつくる側の知識を学んでいくことが求められる時代ですね。

みなさんもしっかりと使い込んでみてください。

校長松川明義



【行事予定】9日(月)~13日(金):授業公開週間

11日(水):情報モラル教室 12日(木):歯科検診(3年)

週末の大会参加予定 バレーボール部、将棋部



米丁 HP



米工通信 第119号 令和4年 5月13日 鳥取県立米子工業高等学校 担当者名 吉村 諭志

1学期中間考査目前! 準備がすべて!

早いもので | 年生が入学してから | ヶ月が過ぎました。学校にもすっかり慣れ、勉強に部活に励んでくれているところだと思います。

そんな | 年生に (| 年生だけではないですが) 迫っているのが、高校生活初の定期考査である中間考査です。生徒の皆さんを苦しめる (?) この定期考査ではありますが、実は教員側も苦しみながら問題を作り、また採点を行っています。今回は、教員側からみた考査についてのお話をしてみたいと思います。

さて、「考査」の意味を広辞苑で引いてみると、

- ①考え調べること。
- ②学校(主に中学校・高等学校)で生徒の平素の学業成績を調べること。試験。 テスト。「期末一」

と書かれています。特に②の意味で使われることが多いこの考査ですが、教員側からすると実は①に結構ドキッとします。自分の授業で生徒たちはしっかり考えること・調べることが出来ているのか…と自問させられるからです。

授業内容を理解出来ているか、考えられているかを問うのが定期考査なのですが、これは何も生徒だけの考査ではありません。我々教職員もまさに問われているのです。毎回採点をしながら、「あぁ、ここはもう少し丁寧に教えておけば良かった」とか、「もっと別の表現だったら生徒も覚えやすかったかも…」などと、足りなかったところを突きつけられ、自らの授業の問題点・課題点・改善点が浮き彫りになるツラさ…。

考査は、教職員にとっても大きな試練であることが何となく分かっていただけましたか?お互いにツラさがある定期考査ですが、大きく成長する学びのチャンスでもあります。後になってから「良かった!」と思える考査となるように、早めに準備しておきましょう。よろしくお願いします。 (第1学年主任 吉村)

00000 00000 00000 00000 00000 00000

【行事予定】 5月17日(火)~20日(金) 1学期中間考査

5月17日(火) 奨学金説明会 (3年希望者)、ハイパーQU (1・2年)

5月18日(水) 自転車点検





米工通信 第120号令和4年5月17日鳥取県立米子工業高等学校

十年近く前のことです。ある高校の文化祭で生徒の川柳作品が展示してありました。

帰りたくない・・・

その川柳の正確な言葉は忘れてしまいましたが、「帰りたくないと言っている人は、帰る場所がある人だ」という内容でした。この句を読んだとき、ハッとしました。生徒の背景や気持ちが思い描かれるのと同時に、私たちは日々ありがたさに目をやることなく、わがままに不平不満を言っているだけではなかったのか、とこの句から改めて考えさせられたのです。

行きたくない、は行ける環境にある。食べたくない、は食べられる環境にある。したくない、はできる環境にあるからこそ言える言葉です。できるチャンスを与えられているのなら、そのことに感謝の気持ちを持ち、ありがたくチャレンジしてみよう。そんなことを一瞬のうちに思わせてくれる一句との出会いでした。

選択肢があるということはありがたいことです。選択肢がなければ、先の句では「帰りたくない」ではなく、「帰れない」という言葉になりますね。選択できる自由が与えられているのですから、断ることもできます。その場合も選択できる自由が与えられていることを認識して断ることができると、断り方も、断るときの自分自身の気持ちもずいぶんと違ったものになるでしょう。



今日から中間考査が始まりました。「勉強したくない」と思っている人はいませんか?勉強できる環境にあるからこそ、そう思えるのですね。毎日、武力により混乱した海外の状況が報道されています。その状況下にある子どもたちは「勉強したくない」とは思わないでしょう。とても勉強できる環境ではなく、「勉強したくない」という選択肢を思いつくことはありません。

皆さんは勉強できる環境にあることに感謝 して中間考査に取り組んでください。

校長 松川 明義

【行事予定】5月17日(火)から20日(金):1学期中間考査

18日(水):自転車点検20日(金):頭髪服装指導

23日(月):生徒総会、生徒会長選挙



米丁 HP